

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
吉野地区

平成31年1月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩道整備率	%	60	71	77	確定 見込み ●	○	あり ● なし	80	H30年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	幹線道路や生活道路における歩道整備により、歩車道の分離が図られ、歩行者の安全性確保や移動利便性の向上など交通環境の改善につながった。
指標2	公園までの距離	m	218	218	218	確定 見込み ●	△	あり ● なし ●	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	未整備の2公園を早急に整備を行い、災害時における避難場所として公園までの距離及び移動時間の短縮を図りたい。
指標3	住民の定住意向	%	88	90	88	確定 見込み ●	△	あり ● なし ●	90	H30年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	良好な生活環境が整備されたことにより居住人口が増加していることから、地域住民がまちに住み続けたいと思う定住意識の向上が図られた。
指標4						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

※フォローアップの必要のある指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内及び周辺地域の居住人口	人	40,520	42,017	42,017	確定 見込み ●			42,565	H30年11月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が整備されたことから、区域内及び周辺地域の居住人口の増加につながった。
その他の数値指標2						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み						<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

※フォローアップの必要のある指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な住環境の維持	整備改善された道路、公園等で定期的な清掃、点検、補修等を実施。	良好な住環境や都市景観を維持できており、憩いの場として地域住民の公園の利用が進んでいる。	地域住民や町内会等の積極的な参加による公共施設の維持管理(清掃)を推進し、市民と協働したまちづくりを実現する。
	区域内(周辺地区を含む)居住人口の維持	土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の公共施設の整備。	良好な居住環境が形成されることにより、地域住民がまちに住み続けたいと思うことで居住人口を維持できた。	土地区画整理事業により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が整備されると区域内及び周辺地域の居住人口の増加につながることから、引き続き事業推進を図るとともに、市ホームページや広報誌などにより住民へ整備状況などの周知方法の充実を図っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	交通環境の改善 (歩行者及び通行車両の安全性の確保)	新たに作成した都市再生整備計画(4期)に基づき、土地区画整理事業による幹線道路や生活道路等の整備改善。	幹線道路や生活道路における歩車道の整備により、安全性の確保や移動利便性の向上など、交通環境の改善が図られた。	依然として歩行者や車両の通行が困難な狭隘道路が残されていることから、引き続き土地区画整理事業による公共施設の整備改善を行い、交通安全性の確保を図っていく。
	住環境の改善及び防災性の向上	公園の整備による公共空間の確保や災害時の避難環境を改善するため、新たに都市再生整備計画(4期)を作成。	平成30年度より都市再生整備計画(4期)事業を開始。	地域住民のコミュニティの場や災害時の一次避難場所として機能する公園の整備を引き続き行い、防災性の向上や公園利用者数の増加を図っていく。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項